

RESULT LIST

0 results found in the Worldwide database for:
JP4919191 (priority or application number or publication number)
(Results are sorted by date of upload in database)

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

JP 49-19191 discloses a method for improving stain resistance of a cloth by applying a solution containing a stain blocker. Tannic acid and a sulphonated phenol-or naphthol-aldehyde condensation is exemplified as the stain blocker in the eight publications. A combination of the two compositions is not described.



(2,000円)

特許

昭和47年6月16日

特許庁長官

1発明の名称

点描染用色糊の製造方法

2発明者

住所 京都市東山区山科東野町1番地

氏名 里野吾朗 (ほかの名)

3特許出願人

住所 京都市東山区山科西野町2番地

名称 株式会社 松井色糊化工业所

代表者 松井義雄

4代理人 〒530

住所 大阪市北区梅上町6番地大三ビル

伊藤特許事務所

電話 大阪(06)363-2745番

氏名 (6994)弁理士伊藤隆宣

⑯日本国特許庁

公開特許公報

⑪特開昭 49 19191

⑫公開日 昭49.(1974)2.20

⑬特願昭 47 60852

⑭出願日 昭47.(1972)6.16

審査請求 有 (全7頁)

序内整理番号 ⑮日本分類

6859 47 48 B202

明細書

1発明の名称

点描染用色糊の製造方法

2特許請求の範囲

分散染料をポリビニルアルコール水溶液に分散させ、次にポリビニルアルコールと相溶しない糊料水溶液を加えて2相に分散させ、この2相中にターンシン酸、多価エノール酸または強化エノール酸水溶液を添加・混合し、次いでよく攪拌しながら硫酸または硫酸塩を添加して液中に色素粒子を凝固させ、所定にして得られた色素粒子の1色または2色以上を元糊中に散在させることを特徴とする、点描染用色糊の製造方法。

3発明の詳細な説明

本発明は、合成繊維布に点描模様を顯現させることができる点描染用色糊の製造方法に関するものであり、その主なる目的は、本発明の点描染用色糊を用いることにより、布面上に種々の色彩の小点を構成要素とする集合により模様を顯

現させ、視覚中での色混合により捺染模様の複雑効果、多彩効果及び立体的效果を發揮させることにある。

従来、捺染用色糊は染料又は糊料を元糊中に均一溶解または均一分散させたもので、その色糊で捺染された布面の部分は面積を有する均一な1色としてあらわれ、また2色以上の染料または糊料を配合をした色糊を用いても、その色糊で捺染された布面の部分は均一に混合された1色としてあらわれた。露降または多彩の点描模様を布面に印捺させるためには色数に応じた数種の色糊を調製し、点描模様に形成された捺染型版を色数と同じ個数用意して点描捺染しなければならなかつた。

本発明者等は通常使用されている捺染型版にて点描捺染できる色糊を種々検討の結果、元糊中に1色の色素粒子または2色以上の色素粒子を個別に散在させた色糊を用いることにより、点描模様の影刻型版でなく面積有る模様を形成した捺染型版1個で多彩な点描捺染ができるこ